水が途切れない世界を

日本鋳鉄管代表取締役社長　日下　修一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も当社は水が途切れない世界の実現に向け、さまざまな取組みを進めてまいります。

昨年は、「楽ちゃく」「だいざくくん」の開発、水研との「KATANAバルブ」の共同開発を行いました。水が途切れない世界の実現のために必要となる、工事現場での人手不足の解消などの社会課題の解決に資するもので、ESG経営のS（Social）に当たります。

「楽ちゃく」は、GX形鋳鉄管布設工事の施工品質および作業効率の向上を可能とした「楽に、早く、確実に」誰でも使用可能な接合工具です。

「だいざくくん」は、下水道用鉄蓋の点検・調査、記録までをスマホだけで効率的に行うことが可能なDXツールアプリです。

貢献

包括業務提携をしている水研との共同開発「KATANAバルブ」は、ポリエチレン管用の不断水バルブで、施工時に切粉混入なく、短時間で簡単に施工できるものです。

本年も一層社会貢献できるよう、さらなる進化を続けてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

次なる飛躍へ邁進

日之出水道機器代表取締役社長　浅井　武

年頭に当たり、ご関係の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返れば、コロナとロシアによるウクライナ侵攻の影響等で、企業業績も個人生活も大きな影響を受けた一年でした。

この二つが相乗的に絡み合い、世界経済が停滞を余儀なくされる一方、急激な円安も加わって消費者物価も企業物価も大きく高騰し、特に当社のような内需型製造業には負の要因だけが降りかかる大変厳しい一年となりました。

こういった中、世界に冠たるわが国のものづくり企業の一部では、円安や地政学リスクへの対応等からサプライチェーンの見直しに本腰を入れ始め、これまでにない新たな国内需要が産まれようとしています。

飛躍

当社が2年余り前から取り組んでいた佐賀工場のリニューアル工事が完成に近づき、この春からは製造レパートリーの拡大に挑戦してまいります。"疾風に勁草を知る"の譬えを胸に、社員全員で力を合わせてインフラ分野から民間産業機械分野にもウイングを拡げ、次なる飛躍に向かって邁進していく所存です。

本年もよろしくお願い申し上げます。

"これまで"と"これから"

日水コン代表取締役社長　間山　一典

コロナ禍の出口は、未だ見えない。しかし、やるべきことはやる、感染対策と両立させる、気持ちの持ちようは変わってきた。

今年は、「中期経営計画2025」の中間年に当たる。"壁を超える"、"地域に根差す"、"足元を固める"の基本戦略を確実なものとしていきたい。デジタル・トランスフォーメーションやカーボンニュートラルへの対応は加速させる必要がある。社会課題を解決する、壁が高いほど、目標が高いほど、イノベーションが生まれる、そんな意気込みで取り組んでいきたい。

水道行政の大部分が国土交通省へ移管されることが決まった。水行政の一体化とも言われている。水道×下水道だけでなく、河川等の国土交通省所管事業とも連携が期待される。取排水口位置の適正化など、水循環を俯瞰した事業もあり得るはずだ。

幕開

就任以来、転換期、"これまで"と"これから"を分けて考えようと話をしてきた。今がまさに新しい時代の幕開けの気がする。コロナ禍以外にも先行き不透明の時代であるが、こんな時こそ、前向きな気持ちで臨みたい。

100年企業を目指して

日本ニューロン代表取締役　岩本　泰一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年は当社創業50周年、大きな節目の年となります。

昨年11月、関西文化学術研究都市に新たに「管路防災研究所」を設立、おかげさまで100年企業へ向けて強靱な布石を打つことができました。

開所に当たり、当社がこれまでに配管の安全装置"ベローズ"の研究ならびに試験装置開発で培ってきた工学的知見を結集し、ハード面として「大変位耐震試験機」を設備しました。

このフラッグシップ試験機で研究の幅を拡げ、あらゆる配管部材の実物大実験から管路の防災技術開発に邁進します。一方ソフト面においては研究所特別顧問・シニアフェローとしてライフライン地震工学の専門家、小池武氏（元京都大学大学院教授）をお招きし、若手研究員育成カリキュラムがスタートしました。

共創

当研究所はこの教育カリキュラムによる学びの場として、また、広く所外の研究者や技術者の集う交流・共創の場として管路防災にまつわるさまざまなアイデアの創出拠点を目指してまいります。

アジャイルで取り組む

日本ヴィクトリック代表取締役社長　和田　剛二

新年あけましておめでとうございます。昨年も、未だ、先行きが見えない新型コロナウイルスとの共存は続き、閉塞感が漂う一年でありました。

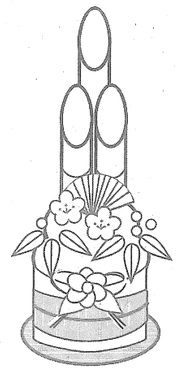
さらに世界規模で原材料価格の高騰、急激な為替の変動、サプライチェーンの停滞など、製造業を取り巻く環境は、大変厳しい一年となりました。

一方で、自然災害への防災・減災といった国土強靱化の取組みは、先送りできない喫緊の課題であることは、変わらない現状が続いております。

当社は、伸縮可とう継手メーカーとして、長きにわたり蓄積した技術力を基に、老朽施設や重要管路を対象とした耐震補強・補修製品の提案、IoT技術を活用した変位計測装置（ヴィクセンサーIIクラウドシステム）による効率的な維持管理方法の提案など、「安全・安心」で「災害に強いライフライン」の実現に向け、引き続き、アジャイルで取り組んでまいります。

貢献

本年もよろしくお願い申し上げます。



シール技術で貢献

六菱ゴム代表取締役社長　和田　剛二

新年あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスとの共存は続き、閉塞感が漂う一年でありました。

さらに世界規模で原材料価格の高騰、ウクライナ情勢によるエネルギー・食糧問題など明るくない状況が続いておりますが、ここにきてワクチン接種率の向上、政府の景気対策により人の動きも活発化しており、日本経済にも明るい兆しが見え始めていると感じます。

一方で、自然災害への防災・減災といった国土強靱化の取組みは、先送りできない喫緊の課題であり、老朽施設の耐震化や重要施設の浸水対策には当社のシール技術で貢献していきたいと考えております。

強靱

当社は昨年創立100周年を迎えることができました。これもひとえに皆さまの温かいご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

マインドセットの転換を推進

フソウ代表取締役社長執行役員　角　尚宣

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、近年類のないレベルで高まりを見せた地政学的リスクや急速なインフレ、電力価格の高騰などによりサプライチェーンの構造変化やエネルギー需給の不安定化など想定外と言ってもいい事態に見舞われましたが、おそらく今後事業活動を行う中において想定外という言葉が使われる機会は少なくなり、企業としてあらゆる事態を想定した企業運営が必要となる時代に入ったのだと強く認識させられた1年でした。

このような社会情勢の中、今年は2021年から3カ年計画でスタートさせている事業構造改革の最後の年を迎えることになります。

融合

自社の存在意義や役割、事業目的をベースにしたマインドセットの転換を確実に推進し、お客さまのニーズに対して施設・管路一体でお応えできるソリューションをそろえることで、時代の変化に適応した水道システムの構築に微力ながら貢献してまいりたいと考えております。

本年も引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

活気溢れる日常を支える

コスモエ機代表取締役社長　加藤　正明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2023年の新春を迎え、旧年中は関係各位の皆さまには格別のご指導ご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は不安定な国際情勢などの憂慮がありながらも、渡航制限・イベント制限の緩和や屋外でのマスク着用の原則不要というウィズコロナ時代を迎えました。3年ぶりに水道展が開催され、久しぶりに皆さまとの交流を深めることができました。

以前の生活に戻るにはまだ時間がかかりますが、その兆しを感じる一年でした。活気溢れる日常を取り戻せるよう、今年の文字は「活気」にいたしました。

活気

当社はライフラインの強靱化に貢献する製品や工法で、日常生活を支えてまいります。末筆ではございますが、今後も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

挑戦の年に

[illegible]

挑戦